

# 25班 高校生におけるスマホのジャンル別使用時間と記憶力の関係

## 背景

スマホの使用時間と記憶力や学力についての先行研究は存在しているが、具体的にスマホの何が悪いのかを調べているものはなかった。なので、アプリ等になにか関連があるのではないかと考えた。

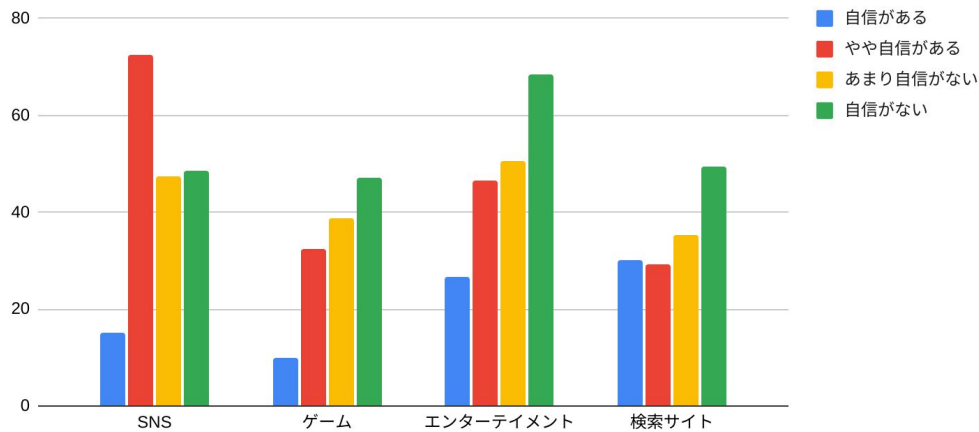
その上で、アプリのどのようなところが記憶力の差として現れていくのかを調べる

## 仮説

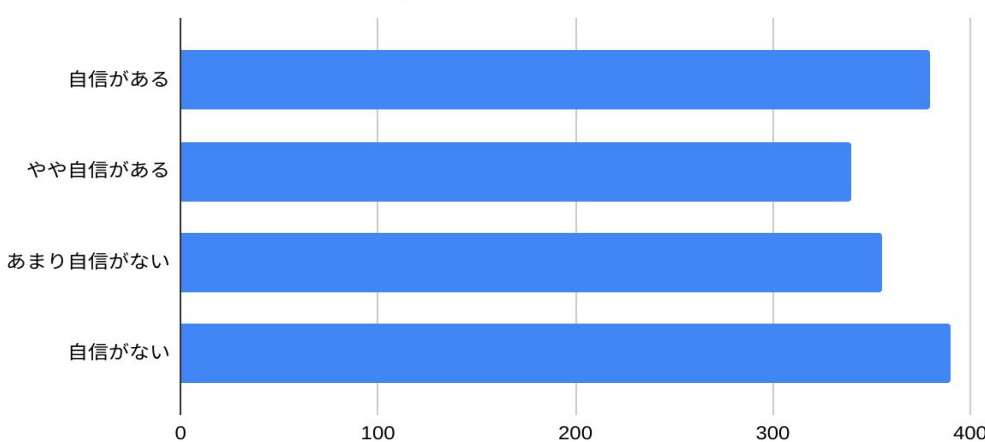


## 事前アンケート結果

記憶力の自己評価とアプリ使用時間



記憶力の自己評価と睡眠時間



→睡眠時間よりもアプリ使用時間が記憶力に影響する

## 実験方法

- ①10個の英単語を10分で覚えてもらい、テストをする
- ②20分間一つのアプリ (Youtube, 漫画アプリ) を使ってもらう
- ③1回目と2回目の点数の差と使ったアプリの影響を調べる

※短期記憶は約20分間で作られるとされている

## 実験結果

回答数の変化 ?/10

YouTube 一人目 10→9  
二人目 10→8

漫画 一人目 10→9  
二人目 10→10

何もしない 一人目 8→6  
二人目 10→10

- ・アプリの使用による回答数の変化は大きくは見られなかった
- ・Youtubeは2人とも回答数が下がる結果になった
- ・一回目の回答数がアプリ関係なくほぼ満点だった

## 考察

- 被験者を最も多くすべきだった
- 英単語の位置を固定していたので順番で覚えていたかもしれない
- 20分では短期記憶は完璧にされない

## 参考文献

[https://www.tohoku.ac.jp/japanese/newimg/awarding/award20150319\\_01.pdf](https://www.tohoku.ac.jp/japanese/newimg/awarding/award20150319_01.pdf) 川島隆太